

特別展 お宝のうら！なか！そこ！

2022年7月24日(日)～9月11日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社

甲冑・刀装具・能面・手箱・屏風・絵巻など、様々な展覧会で公開されているこれらの作品は、通常は「表」あるいは「正面」を鑑賞できるように展示されています。贅を凝らして作られた作品は、裏や内側まで華美に装飾されたり、別の作品が装幀されたりする事があります。また、裏側には作者のサインなど、作品を知る上で欠かせない情報が残される場合もあります。

本展覧会では、様々な作品の裏・内・底を紹介するとともに、目に見えない面に施された仕掛けとその意義を考えます。また、博物館における展示活動の裏側として、文化財がどのように収納され、保管されているか、大名家に伝わった道具の保管方法を紹介します。

- ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- ・指定欄の「◎」は重要文化財、「○」は重要美術品です。
- ・所蔵欄に記載のない作品は全て徳川美術館の所蔵品です。
- ・展示期間：A:7月24日(日)～8月16日(火)、B:8月17日(水)～9月11日(日)

No.	指定 作品名・作者	所有者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
-----	-----------	----------	-------	--------

1. 不思議！？裏面の仕掛けと仕組み

ジューっと見ると何かが見える

1	銅人臉穴鍼灸図経 十冊の内、二冊	徳川義直(尾張家初代)所用	明 17	名古屋市 蓬左文庫
2	常盤切 後深草天皇書状	(古筆手鑑「蓬左」所収)	鎌倉 13	
3	常盤切 後深草天皇書状	(古筆手鑑「水荃」所収)	鎌倉 13	
4	西行上人絵詞 模本		江戸 17	名古屋市 蓬左文庫

絵画の裏側マジック

5	○ 仙人図 劉俊筆		明 15	B
6	阿弥陀・観音・地藏像		鎌倉-南北朝 14	A
7	雲龍図(「雲龍・雪梅・風竹図」三幅対の内、中幅)	狩野山雪筆 吉田友昭氏寄贈	江戸 17	A
	雪梅図(「雲龍・雪梅・風竹図」三幅対の内、右幅)			B
	風竹図(「雲龍・雪梅・風竹図」三幅対の内、左幅)			B
8	徳川家康画像(東照大権現像)		江戸 17	A 個人蔵

漆器の中身は何か

9	牡丹文鳥獸草花箔絵十二角形足付盆		琉球 16-17	
10	牡丹文鳥獸草花箔絵十二角形足付盆 木胎模型	室瀬和美製作	現代 21	
11	彫彩漆梅花文香合		南宋-元 13-14	
12	兔文橙香合	東福門院和子作	江戸 17	
13	一閑張小棗 千宗旦在判	岡谷家寄贈	江戸 17	
14	松竹梅鶴・四季草花箔絵螺鈿謡本箆筒	平戸松浦家伝来 岡谷家寄贈	江戸 17	
15	松鴛鴦蒔絵象牙印籠 銘 芝山作		江戸 19	

今回だけ！？ 広げて見てみよう。

16	紅・白・花色・紺段威具足		桃山-江戸 16-17	
17	溜塗笈形鎧櫃 (No.16 紅・白・花色・紺段威具足 附属)		桃山-江戸 16-17	
18	火縄銃 三刃五分筒 銘 完(宍)栗鑄鍛三重張 慶長拾六年十月吉日 日本清堯(花押)	野田清堯作 徳川家康所用	江戸 慶長16年<1611>	
19	蠟色塗鞍・鎧 銘 道禅作 政良(花押)		江戸 17	

2. 裏面は情報の宝庫

サインは控えめに

20	堆朱松下観月図香合 針彫銘「楊茂造」	松平義真(梁川松平家3代)所用	明 15	
21	金銅卍透四方香炉 銘 大明宣徳年製		明 16	
22	建安瓦硯	伝古田織部・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用	明 16	
23	踏皮(白革足袋) 四足の内	徳川家康着用	江戸 17	
24	一節切 銘 山風	大森宗勲作	桃山-江戸 17	
25	能面 小飛出 黒漆銘「天下一角坊」(花押)	角ノ坊作	桃山 16	B
26	能面 中将 焼印「天下一河内」	河内大掾家重作	江戸 17	A
27	竹掛花生 歌銘 むさし鎧	小堀遠州・江雲宗龍作	江戸 17	
28	御深井焼三島写儀形茶碗 銘 万石 「深井製」丸印		江戸 19	
29	◎ 刀 折返銘 備中国住次直	成瀬正虎(成瀬家2代)・徳川光友(尾張家2代)所持	南北朝 14	

裏に隠された様々な情報

30	灰被天目 銘 玉潤		元-明 14-15	
31	松喰鶴蒔絵散米衝重		室町 15	個人蔵
32	和歌懐紙「万歳」	冷泉為泰筆 七ツ寺旧蔵	江戸 安永9年<1780>	

3. 裏面・内面も豪華絢爛

見返しもアート

33	石清水行幸次第	藤原定家筆	鎌倉	13	
34	紺紙金字法華経 卷七 八巻の内、一卷 紺紙金字無量義経		鎌倉-南北朝	14	
35	◎ 歌舞伎図巻 二巻の内、上巻・旧見返	詞書 伝烏丸光広筆	江戸	17	A
36	紺紙金字法華一品経 法師功德品・化城喻品		江戸	17	B 個人蔵
37	百番謡本 俊寛・芭蕉 百冊の内 (NO.14 松竹梅鶴・四季草花箔絵螺鈿謡本筆筒 内容品)	伝観世黒雪筆 平戸松浦家伝来 岡谷家寄贈	江戸	17	
38	曾我物語 十二冊の内		江戸	17	

武の裏側

39	刀 銘 資正作		室町	15	
40	白鳩・龍図軍扇	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	B
41	龍図・鳩図軍扇	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19	A
42	牛図三所物 銘 紋祐乗(後藤家初代) 光美(後藤家15代)(花押)		室町	15	
43	烏図三所物 無銘 栄乗(後藤家6代)		江戸	17	
44	枇杷図三所物 銘 後藤光保(花押)	後藤光保作	江戸	19	
45	印籠図小柄 無銘 光美(後藤家15代)		江戸	18-19	
46	胡桃図笄 無銘 乗真(後藤家3代)		室町	16	
47	茶の湯道具図罽 銘 真乗作(後藤家15代光美) 光晃(後藤家16代)(花押) 大小二枚		江戸	18-19	
48	七宝折鶴赤銅罽 銘 越前住吟宇(花押)		江戸	19	
49	白羊毛皮付羽織		江戸	18	A
50	白地葵紋付精好陣羽織	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19	B
51	黒塗葵紋付網代陣笠		江戸	19	

絵画の裏にも絵画？

52	群鶴図屏風 六曲一双の内	(「四季花鳥図屏風」伝狩野山楽筆 裏面)	江戸	18-19	B 右隻 A 左隻
53	若松図屏風 六曲一双の内	神谷晴真筆 (「六玉川図屏風」神谷晴真筆 裏面)	江戸	19	B 右隻 A 左隻
54	南天・竹図衝立	渡辺清筆 大脇家寄贈	江戸	19	

蓋を開けるとそこには！

55	菊重蒔絵手箱		桃山	16	
56	井筒蒔絵硯箱	徳川光友(尾張家2代)・吉通(同4代)所用	江戸	17	
57	山水に鷺蒔絵色紙箱		江戸	17	
58	葵紋扇散蒔絵鼓箱(荇田蒔絵小鼓 附属)		江戸	17	
59	菊折枝蒔絵十二手箱	俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用	江戸	19	
60	菊折枝蒔絵鏡台	転陵院好君(尾張家9代宗睦正室)所用	江戸	18	
61	木地浪文彫手箱	松平義恕(尾張家14代慶勝)作	江戸	弘化2年<1845>	

世にも珍しい黄金道具の裏側

62	◎ 純金葵紋山水図香盆(金銀調度類三十四種の内)	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	
63	◎ 純金葵紋散蜀江文硯箱(金銀調度類三十四種の内)	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	

文房具の裏の仕掛け

64	牡丹菊椿文堆朱軸台		明	16	
65	黎溪月兔硯		明	16-17	
66	草花禽獸銀象嵌鉄水滴		朝鮮王朝	16-17	

裏側も見どころ

67	古染付牡丹唐草文茶碗		明	16-17	
68	井戸茶碗 銘 磯清水	岡谷家寄贈	朝鮮王朝	16	
69	青磁天龍寺菓子鉢		明	14-15	
70	葵紋散蒔絵棗		江戸	18	
71	黒塗秋草図吸物碗 十客の内	西光庵寄贈	江戸	慶応元年<1865>	

4. 展示の裏側 どうやって収納しているの？

収納箱にも情報

72	鉄絵牡丹文俵形花生 精中宗室(玄々斎 裏千家11代)箱書	武野紹鷗所用 山本道伝家伝来	朝鮮王朝	15-16	
73	刷毛目茶碗 銘 白波 柳沢保光・益田鈍翁箱書	岡谷家寄贈	朝鮮王朝	16	
74	紫檀製御召馬「翁澤」写置物	伊勢貞門作 徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	19	

収納箱にも装飾を

75	菊折枝蒔絵雑道具 鏡台	俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用	江戸	19	
76	八橋蒔絵十種香箱		江戸-明治	19	個人蔵

どうやってしまっているの？

77	黒塗罽収納箱		江戸	18-19	
78	目貫収納箱		大正2年<1913>		
79	征矢・収納箱	田安德川家伝来	江戸	18	
80	上り藤馬標・収納箱	馬標：徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	
81	溜塗能面筆筒 三棹の内		江戸	17-18	
参考	能面 増 焼印「天下一近江」	近江満昌作	江戸	17	A
参考	能面 中将 焼印「天下一河内」朱漆花押	河内大掾家重作	江戸	17	B
82	黒塗葵紋蒔絵刀拵筆筒		江戸	19	